

令和4年評議員会議事録

1 日時 令和4年5月15日（日）13時30分開会、14時15分閉会

2 会場 尼崎スポーツの森 会議室

3 現在数 理事等役員 16名、評議員 21名

4 出席者 佐々木史郎会長、足立優副会長、柳田昌宏副理事長、新田理、阿部修治、山本伸一、
戸澤哲也、吉川季征、口羽英一、橋本周三、畠中晴彦、荒木誠也

以上、理事等役員 12名

竹村学、松浦晃、高島大地、岩本涼汰

以上、評議員 4名

監事 中井 洋

5 委任状

理事 2名

評議員 16名

6 議事

司会 定刻になりましたので、令和4年兵庫県アイスホッケー連盟評議員会をはじめさせていただきます。開会にあたり、連盟規約第14条により、本日の評議員出席者数4名、理事出席者数12名、各委任状提出者数18名、計34名で評議員会構成数37名（評21+理16）の3分の2を上回っておりますので、本日の評議員会は成立することをご報告いたします。

会議に先立ちまして、会長佐々木よりご挨拶申し上げます。

佐々木 《挨拶》

司会 議事進行にあたり、議長の選出が必要となりますが、連盟規約により、佐々木会長が務めさせていただきます。

議長 皆様のご協力を得て、議事を進行していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。では、第1号議案「令和3年度事業報告」について、柳田理事長から説明してください。

柳田 柳田です。ご報告申し上げます。《資料に基づき説明》

議長 続いて、令和3年度収支決算について、事務局からお願いします。

新田 事務局の新田です。《資料に基づいて説明》

議長 監査報告をお願いします。

中井 監事の中井です。《報告書の読み上げ》

議長 足早に進めてまいりましたが、ここで質疑に入りたいと思います。ここまでのことで、ご意見・ご質問はありませんか。なお、発言は挙手の上、所属チーム名及び氏名を言って、お話しください。

《質疑応答なし》

議長 ご意見はございませんか。なければ令和3年度報告事項をご承認いただけますでしょうか。挙手をもって承認いただきますようお願いいたします。

《挙手過半数》

第1号議案「令和3年度事業報告及び収支決算について」は、承認されました。

議長 引き続き、第2号議案「令和4年度事業計画及び予算について」事業計画の説明をお願いします。

柳田 《資料に基づき説明》

議長 続いて、予算について説明をお願いします。

新田 《資料に基づき説明》

議長 事業計画及び予算についての説明がありました。質疑に入ります。ご意見はありませんか。

《質疑・応答なし》

ご意見が無いようですので、ご承認いただける方は挙手願います。

《挙手過半数》

第2号議案「令和4年度事業計画及び予算について」は、承認されました。

議長 続いて、その他ですが、新規チーム登録の申請があります。事務局から説明願います。

新田 このたび、堺アイスホッケークラブブラックパンサーズ（社会人チーム、代表は西口豊様、メンバー数15名）から当連盟へ加盟申請がありました。代表者の方に理事会へご出席いただき、チームの概要などをお聞きし、理事会においては加盟申請を承認いたしました。

本評議員会での承認をもちまして、正式に登録となりますので皆様のご承認をいただきたくお願いいたします。

議長 ご質問、ご意見はありませんか。

《質疑・応答なし》

ご意見がないようですので、新規加盟について、ご承認いただける方は挙手願います。

《挙手過半数》

ありがとうございました。堺アイスホッケークラブブラックパンサーズの加盟申請は承認されました。本日、チーム関係者の猪野様が、お越しですので、ご挨拶いただければと思います。

猪野 《挨拶》

議長 ありがとうございました。以上で予定の議題はすべて終了いたしました。その他として、連盟に対してのご提案やご意見はありませんか。

《質疑・応答なし》

議長 ないようですので、これで議長を降ろさせていただきます。皆様、ご協力ありがとうございました。

司会 ありがとうございました。副会長足立より閉会の挨拶をさせていただきます。

足立 《挨拶》

司会 以上を持ちまして、令和4年評議員会を終了させていただきます。皆様、本日はお疲れ様でした。これで解散とさせていただきます。

司会者：新田

議長：佐々木会長

議事録作成者：新田

令和 年 月 日

議事録署名人

会長

理事長

監事



Hyogo Ice Hockey Federation
兵庫県アイスホッケー連盟

令和4年評議員会(総会)

資料

尼崎スポーツの森・会議室
令和4年5月15日(日)
13時30分開会

令和4年評議員会 議事次第

開会

会長あいさつ

議長選出

議題

第1号議案「令和3年度事業報告及び収支決算について」

- 1 令和3年度事業報告
 - (1) 競技事業委員会
 - (2) 強化委員会
 - (3) 普及委員会
 - (4) 医科学委員会
 - (5) レフェリー委員会
 - (6) インラインホッケー委員会
 - (7) 国民体育大会・その他
- 2 令和3年度決算及び監事監査報告

第2号議案「令和4年度事業計画及び予算について」

- 1 令和4年度事業計画(案)
 - (1) 競技事業委員会
 - (2) 強化委員会
 - (3) 普及委員会
 - (4) 医科学委員会
 - (5) レフェリー委員会
 - (6) インラインホッケー委員会
- 2 令和4年度予算(案)

その他（新規加盟チームについて）

閉会

第1号議案「令和3年度事業報告及び収支決算について」

令和3年度事業報告

(1) 競技事業委員会

令和3年6/21～7/31 第75回兵庫県民大会アイスホッケー選手権大会（西宮） ※
令和4年1/15～16 U-16近畿ブロックセレクトキャンプ（滋賀）※8月予定が延期
令和3年12/4～令和4年3/26 第13回関西オールドタイマー大会（尼崎）
令和3年10/30～10/31 第12回兵庫チャレンジカップ（神戸）※
令和3年11月14日 小学生選抜代表チーム選考会（神戸）
令和3年12月25・26日 国体北信越・東海・近畿ブロック予選会・少年の部（神戸）
令和4年1月22日 県民体育大会小中学生の部・U9親善クロスアイス大会（神戸）※
令和4年2月16日 全日本少年アイスホッケー大会（釧路）主導チーム決定戦（神戸）
令和4年3月 第5回アンリ・シャルパンティエ杯（西宮） ※
※印 新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会の一部またはすべてを開催中止

(2) 強化委員会

〈国体成年〉

代表チーム練習

10/9・10/16・10/23・10/30・11/6・11/13・11/20・11/27・12/1
12/8・12/18・1/8・1/12・1/19（西宮）

〈国体少年〉

代表強化練習・対外試合

4月、7月、8月西宮にて計4回

10月～12月、3月 丹波、神戸において練習及び試合 計10回

〈その他〉

HIHFGK スキルアップトレーニング(4回) 11/30・12/16・2/10・3/17

(3) 普及委員会

ジュニア育成事業は、各地区でのジュニア競技者を増加させるための事業を展開した。

- ① アンリシャルパンティエスケート体験教室（11月～2月、月4回開催）
- ② PIリンク主催アイスホッケー教室において、指導業務を受諾、指導員派遣・防具提供（11月～3月、計12回開催）
- ③ 姫路セントラルリンクにて開催の土曜ホッケー教室開催支援

(4) 医科学委員会

新型コロナウイルス感染防止対策等への対応。

国体北信越・東海・近畿ブロック予選会・少年の部（神戸）ドクター派遣

(5) レフェリー委員会

県内大会への審判派遣 県民大会/KOHA

近畿地区大会への審判派遣 関西実業団リーグ/関西学生リーグ/国体予選

全国大会予選会への審判派遣 国体予選成年、国体予選少年

全国大会等への審判派遣 アジアリーグジャパンカップ、インターハイ、J-ICE WEST

その他練習試合/定期戦への審判派遣 レフェリークリニック（近畿ブロック）の開催

(6) インラインホッケー委員会

第 22 回関西インラインホッケーリーグ 5/23・5/30（丹波） ※

全日本選手権 B プール 近畿予選 6/6（丹波） ※

第 22 回全日本選手権 B・L プール 本戦（丹波）7/17～19 ※

エンジョイフルワンデイカップ 8/8（丹波） ※

ウエストジャパンインラインホッケーチャンピオンシップ 9/11～12（丹波） ※

※印 新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会のすべてを開催中止

その他報告

(1) 国民体育大会

〈成年の部〉

第 77 回 冬季国民体育大会 近畿ブロック大会アイスホッケー競技会

12/4～12/12（大阪府立臨海スポーツセンター） 成年の部 2 位

1 回戦 兵庫県 3-2 和歌山県

準決勝 兵庫県 2-1 大阪府

決勝戦 兵庫県 2-4 京都府

最終順位 1 位 京都府、2 位 兵庫県、3 位 大阪府、4 位 滋賀県（4 位まで本大会出場）

5 位 和歌山県、6 位 奈良県

第 77 回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会（栃木国体）

1/26～1/30 栃木県日光市他

棄権

1 位 北海道、2 位 東京都、3 位 埼玉県、4 位 京都府、5 位 栃木県、6 位 神奈川県

〈少年の部〉

第 77 回国民体育大会北信越・東海・近畿ブロック大会アイスホッケー競技会

12/25・26（神戸市）

1 回戦 兵庫県 0 - 6 富山県 敗退により本大会出場獲得なし

順位決定戦 兵庫県 2 - 4 長野県

順位決定戦 兵庫県 0 - 3 京都府

最終結果 7 位

(2) その他出場全国大会

第 17 回風越カップ全日本アイスホッケー大会小学生の部

関西ブロック予選（12/27～29・京都）

本大会（3/26～29・軽井沢） ※

第 16 回全日本少年アイスホッケー大会中学生男子の部 3/25～29（釧路） ※

第 10 回全日本小学生低学年選抜アイスホッケー大会本大会（神奈川県） ※

※印 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

令和3年度決算並びに監事監査報告

令和3年度 兵庫県アイスホッケー連盟決算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日

I 収入の部			
科 目	予算額(A)	決算額(B)	予算差異(B)-(A)
1 登録料	3,650,000	3,498,000	△ 152,000
社会人・オールドタイマー	1,750,000	1,770,000	20,000
大学	850,000	886,000	36,000
女子	150,000	133,000	△ 17,000
高校・中学・小学生	800,000	709,000	△ 91,000
インライン	100,000	0	△ 100,000
2 補助金	2,900,000	2,172,640	△ 727,360
兵庫県体育協会 選手強化事業	1,250,000	1,545,000	295,000
選手育成事業	250,000	286,000	36,000
ブロック大会・本国内体旅費(成年・少年)	1,340,000	281,640	△ 1,058,360
県民大会交付金・その他	10,000	10,000	0
日本アイスホッケー連盟	0	0	0
その他(少年ブロック大会補助・静岡県)	50,000	50,000	0
3 協賛金	0	0	0
4 寄付金	0	0	0
5 参加料	5,940,000	3,219,000	△ 2,721,000
県民大会(成年)	850,000	720,000	△ 130,000
国体(少年)北信越・東海・近畿予選(兵庫県主催)	0	1,050,000	1,050,000
県民大会(小中学生)	250,000	0	△ 250,000
兵庫チャレンジカップ(小中学生)	800,000	0	△ 800,000
風越カップ関西予選会(兵庫県主催)	0	0	0
関西オールドタイマー	3,000,000	960,000	△ 2,040,000
スプリングカップ(大学他)	650,000	384,000	△ 266,000
小学生選抜(U9含む)選考大会	90,000	105,000	15,000
国体候補選手強化	0	0	0
関西インラインホッケー	0	0	0
全日本インライン近畿予選	0	0	0
ウエストジャパンインライン	0	0	0
その他大会・講習会他	300,000	0	△ 300,000
6 リンク調整・利用料	18,000,000	20,520,500	2,520,500
リンク等利用料	17,950,000	20,520,500	2,570,500
その他	50,000	0	△ 50,000
7 受託料	2,300,000	2,121,750	△ 178,250
(一社)ひょうごスケート	2,300,000	2,121,750	△ 178,250
日本アイスホッケー連盟(全日本インラン)	0	0	0
ひょうご西宮アイスアリーナ	0	0	0
8 手数料	0	0	0
9 雑収入	50,000	49	△ 49,951
当期収入合計(A)	32,840,000	31,531,939	△ 1,308,061
前 期 繰 越 金	2,844,718	2,844,718	0
収 入 合 計 (B)	35,684,718	34,376,657	△ 1,308,061

II 支出の部			
科 目	予算額(A)	決算額(B)	予算差異(B)-(A)
1 負担金	1,160,000	1,180,880	20,880
日本アイスホッケー連盟	1,100,000	1,120,880	20,880
兵庫県体育協会	60,000	60,000	0
その他	0	0	0
2 国体選手強化事業費	3,950,000	3,101,598	△ 848,402
成年選手強化	650,000	929,048	279,048
少年選手強化	900,000	1,077,944	177,944
成年国体・ブロック大会	1,300,000	692,051	△ 607,949
少年国体・ブロック大会	1,100,000	402,555	△ 697,445
3 大会運営事業費	5,050,000	4,523,490	△ 526,510
県民大会(成年)	750,000	677,440	△ 72,560
国体(少年)北信越・東海・近畿予選(兵庫県主催)	0	1,093,527	1,093,527
県民大会(小中学生)	380,000	93,000	△ 287,000
兵庫チャレンジカップ(小中学生)	750,000	0	△ 750,000
風越カップ関西予選会(兵庫県主催)	0	0	0
関西オールドタイマー	2,100,000	1,928,027	△ 171,973
スプリングカップ(大学他)	650,000	368,725	△ 281,275
小学生選抜(U9含む)選考大会	250,000	255,561	5,561
U16・U9	40,000	0	△ 40,000
関西インラインホッケー	0	0	0
全日本インライン近畿予選	0	0	0
全日本インライン選手権	0	0	0
ウエストジャパンインライン	0	0	0
その他大会・講習会他	130,000	107,210	△ 22,790

(単位:円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	予算差異(B)-(A)
4 補助事業費	600,000	0	△ 600,000
全日本中高生女子大会	150,000	0	△ 150,000
全日本中学生大会	200,000	0	△ 200,000
全日本小学生大会・関西予選会	150,000	0	△ 150,000
その他	100,000	0	△ 100,000
5 普及・クリニック事業費	2,000,000	1,718,636	△ 281,364
教室・講習会・体験会	700,000	548,936	△ 151,064
リンク利用料	1,300,000	1,169,700	△ 130,300
6 管理運営費	1,680,000	1,538,650	△ 141,350
旅費	300,000	298,928	△ 1,072
謝金	600,000	600,000	0
参加料	30,000	0	△ 30,000
通信運搬料	175,000	205,448	30,448
印刷費	20,000	0	△ 20,000
消耗品費	30,000	38,234	8,234
備品購入	100,000	0	△ 100,000
賃借料	20,000	26,400	6,400
委託料	75,000	77,000	2,000
会議費	50,000	0	△ 50,000
支払保険料	180,000	156,350	△ 23,650
支払手数料	100,000	136,290	36,290
7 リンク調整・利用費	18,000,000	19,958,080	1,958,080
8 予備費	400,000	0	△ 400,000
当期支出合計(C)	32,840,000	32,021,334	△ 818,666
当期収支差額(A)-(C)	0	△ 489,395	△ 489,395
次期繰越収支差額(B)-(C)	2,844,718	2,355,323	△ 489,395

監 事 監 査 報 告 書

兵庫県アイスホッケー連盟

会長 佐々木 史郎 様

私は、兵庫県アイスホッケー連盟の令和 3 年会計年度（令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで）の業務の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な書類等を閲覧し、事務局及び主要な場所において業務の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類（通帳、根拠書類）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、兵庫県アイスホッケー連盟規約に従い、連盟の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は兵庫県アイスホッケー連盟規約に違反する重大な事実は認められません。

令和 4 年 5 月 6 日

兵庫県アイスホッケー連盟

監事 中井 洋

※この配布資料には原本（自署・押印）の写しを使用していません。

第2号議案「令和4年度事業計画及び予算について」

令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日）事業計画

(1) 競技事業委員会

- 令和4年6月～7月 第76回兵庫県民大会アイスホッケー選手権大会（西宮）
- 令和4年8/20～21 U-16 近畿ブロックセレクトキャンプ（滋賀）
- 令和4年10月～令和4年4月上旬 第14回関西オールドタイマー大会（尼崎）
- 令和4年10月下旬 第13回兵庫チャレンジカップ（神戸）
- 令和4年11月中旬 小学生選抜代表チーム選考会（神戸）
- 令和5年1月中旬 県民大会小中学生の部・U9 親善クロスアイス大会（神戸）

(2) 強化委員会

〈国体成年〉

- 代表チーム練習 10月上旬から1月下旬（尼崎・西宮）
- 県外遠征 未定、 対外試合 予定
- *強化指定選手A：兵庫県代表選手経験者ならびに代表監督が推薦する選手
- *強化指定選手B：兵庫県在住もしくは勤務先ならびに学校に在籍する選手

〈国体少年〉

- 強化練習 4月～3月 下記期間を除く12回程度（西宮/尼崎/神戸/丹波）
- 第17回全国高等学校選抜アイスホッケー大会選抜（苫小牧）
- 参加予定（8月2日（火）～7日（日）開催予定）
- 代表練習 10月～12月 10回程度（試合含む）（柏原、神戸）

〈小中学生及び女子〉

- 各全日本大会出場にかかる役員旅費の補助等

〈その他〉

- HIHFGK スキルアップトレーニング 10月～3月に月1回程度の開催を予定
- HIHF 出張 GK スキルアップトレーニング 登録チームより要請があればスタッフを派遣

(3) 普及事業

- ジュニア育成・普及事業 前年度同様の企画を予定
- 情報公開・広報事業 ホームページによる組織、活動の紹介等

(4) 医科学委員会

- ドクター派遣（要請のある大会へ）

(5) レフェリー委員会

- 県内大会への審判派遣 県民大会/兵庫チャレンジカップ等
- 近畿地区大会への審判派遣 関西実業団リーグ/関西学生リーグ
- 全国大会等の審判派遣・練習試合等の審判派遣・審判技術向上活動（レフェリークリニック等）

(6) インラインホッケー委員会

- 全日本選手権 B プール 近畿予選 6/19 or 26（丹波）
- 第22回全日本選手権 B・L プール 本戦（丹波）7/16～18

ジュニア世代（U12）の普及及び強化育成、レフリーの育成、選手強化を図る。
垂水健康公園（屋外リンク）にて、小規模大会やイベント等の企画検討。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策等により、大会会場が使用できないため、本年度も次の大会開催を中止にする。

- ・インラインジュニア近畿大会（丹波）
- ・関西インラインホッケーリーグ
- ・ウエストジャパンインラインホッケーチャンピオンシップ

令和4年度予算案

令和4年度 兵庫県アイスホッケー連盟予算案
令和4年4月1日から令和5年3月31日

I 収入の部		(単位:円)		
科 目	令和4年度予算額	令和3年度予算額	増減	
1 登録料	3,400,000	3,650,000	△ 250,000	
社会人・オールドタイマー	1,700,000	1,750,000	△ 50,000	
大学	800,000	850,000	△ 50,000	
女子	100,000	150,000	△ 50,000	
高校・中学・小学生	700,000	800,000	△ 100,000	
インライン	100,000	100,000	0	
2 補助金	3,546,000	2,900,000	646,000	
兵庫県体育協会 選手強化事業	1,250,000	2,900,000	△ 1,650,000	
選手育成事業	286,000	0	286,000	
ブロック大会・本国内旅費(成年・少年)	2,000,000	0	2,000,000	
県民大会交付金・その他	10,000	0	10,000	
日本アイスホッケー連盟	0	0	0	
その他	0	0	0	
3 協賛金	0	0	0	
4 寄付金	0	0	0	
5 参加料	5,240,000	5,940,000	△ 700,000	
県民大会(成年)	850,000	850,000	0	
国体(少年)北信越・東海・近畿予選会(兵庫県主催)	0	0	0	
県民大会(小中学生)	250,000	250,000	0	
兵庫チャレンジカップ(小中学生)	700,000	800,000	△ 100,000	
風越カップ関西予選会(兵庫県主催)	0	0	0	
関西オールドタイマー	2,500,000	3,000,000	△ 500,000	
スプリングカップ(大学他)	650,000	650,000	0	
小学生選抜(U9含む)選考大会	90,000	90,000	0	
国体候補選手強化	0	0	0	
関西インラインホッケー	0	0	0	
全日本インライン近畿予選	100,000	0	100,000	
ウエストジャパンインライン	0	0	0	
その他大会・講習会他	100,000	300,000	△ 200,000	
6 リンク調整・利用料	18,000,000	18,000,000	0	
リンク等利用料	17,950,000	17,950,000	0	
その他	50,000	50,000	0	
7 受託料	2,300,000	2,300,000	0	
(一社)ひょうごスケート	2,300,000	2,300,000	0	
日本アイスホッケー連盟(全日本インラン)	0	0	0	
ひょうご西宮アイスアリーナ	0	0	0	
8 手数料	0	0	0	
9 雑収入	50,000	50,000	0	
当期収入計(A)	32,536,000	32,840,000	△ 304,000	
繰越金	2,355,323	2,844,718	△ 489,395	
収入合計(B)	34,891,323	35,684,718	△ 793,395	

II 支出の部				
科 目	令和4年度予算額	令和3年度予算額	増減	
1 負担金	1,160,000	1,160,000	0	
日本アイスホッケー連盟	1,100,000	1,100,000	0	
兵庫県体育協会	60,000	60,000	0	
その他	0	0	0	
2 国体選手強化事業費	4,000,000	3,950,000	50,000	
成年選手強化	900,000	650,000	250,000	
少年選手強化	1,100,000	900,000	200,000	
成年国体・ブロック大会	1,000,000	1,300,000	△ 300,000	
少年国体・ブロック大会	1,000,000	1,100,000	△ 100,000	
3 大会運営事業費	4,870,000	5,050,000	△ 180,000	
県民大会(成年)	750,000	750,000	0	
国体(少年)北信越・東海・近畿予選会(兵庫県主催)	0	0	0	
県民大会(小中学生)	380,000	380,000	0	
兵庫チャレンジカップ(小中学生)	750,000	750,000	0	
風越カップ関西予選会(兵庫県主催)	0	0	0	
関西オールドタイマー	2,000,000	2,100,000	△ 100,000	
スプリングカップ(大学他)	600,000	650,000	△ 50,000	
小学生選抜(U9含む)選考大会	150,000	250,000	△ 100,000	
U16・U9	40,000	40,000	0	
関西インラインホッケー	0	0	0	
全日本インライン近畿予選	100,000	0	100,000	
全日本インライン選手権	0	0	0	
ウエストジャパンインライン	0	0	0	
その他大会・講習会他	100,000	130,000	△ 30,000	

(単位:円)

科 目	令和4年度予算額	令和3年度予算額	増減
4 補助事業費	450,000	600,000	△ 150,000
全日本中高生女子大会	100,000	150,000	△ 50,000
全日本中学生大会	150,000	200,000	△ 50,000
全日本小学生大会・関西予選会	100,000	150,000	△ 50,000
その他	100,000	100,000	0
5 普及・クリニック事業費	1,900,000	2,000,000	△ 100,000
教室・講習会・体験会	700,000	700,000	0
リンク利用料	1,200,000	1,300,000	△ 100,000
6 管理運営費	1,656,000	1,680,000	△ 24,000
旅費	300,000	300,000	0
謝金	600,000	600,000	0
参加料	30,000	30,000	0
通信運搬料	180,000	175,000	5,000
印刷費	20,000	20,000	0
消耗品費	40,000	30,000	10,000
備品購入	50,000	100,000	△ 50,000
賃借料	25,000	20,000	5,000
委託料	77,000	75,000	2,000
会議費	50,000	50,000	0
支払保険料	150,000	180,000	△ 30,000
支払手数料	134,000	100,000	34,000
7 リンク調整・利用費	18,000,000	18,000,000	0
8 予備費	500,000	400,000	100,000
当期支出合計(C)	32,536,000	32,840,000	△ 304,000
収支差額(A)-(C)	0	0	0
次期繰越収支差額(B)-(C)	2,355,323	2,844,718	△ 489,395

兵庫県アイスホッケー連盟規約

第1章 総則

(名称)

第1条 この団体は兵庫県アイスホッケー連盟（HYOGO ICE HOCKEY FEDERATION）（略号 HIHF）と云う。

(事務所)

第2条 この団体は事務所を 〒668-0047 兵庫県豊岡市三坂町4番7号（新田理 気付）に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この団体は兵庫県におけるアイスホッケー（インラインホッケーを含む）加盟団体を統轄し、かつこれを代表する唯一のアマチュア団体であって、相互融和連絡並びにアイスホッケーの健全なる普及および、振興を図り、広く県民の心身の発展と体育文化の昂揚に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この団体は前条の目的達成をするため、次の事業を行う。

- (1) 兵庫県におけるアイスホッケーの普及奨励および指導者の養成
- (2) アイスホッケーに関する兵庫県選手権大会の開催及び必要と認める競技会の主催又は後援
- (3) アイスホッケーに関する国内競技会及び日本アイスホッケー連盟等に対する代表参加者の選定及び派遣
- (4) 兵庫県におけるアイスホッケーのアマチュア精神の確立
- (5) アイスホッケーに関する調査研究
- (6) アイスホッケーに関する選手の競技力の向上
- (7) アイスホッケーに関する審判員の養成及びその資格の推薦
- (8) アイスホッケーに関する役員、競技者又は団体の表彰
- (9) 日本アイスホッケー連盟に対し、兵庫県のアマチュアアイスホッケー界を代表して加盟すること
- (10) 兵庫県体育協会に対し、アマチュアアイスホッケー界を代表して加盟すること
- (11) アイスホッケーに関する資料の収集保存及び刊行物発行
- (12) その他この団体の目的を達成するに必要な事業

第3章 役員

(役員)

第5条 この団体には次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名以内
- (3) 理事長 1名
- (4) 副理事長 2名以内
- (5) 理事 15名以内
- (6) 監事 2名以内

(役員を選定)

第6条 会長は評議員会により推挙され決定する。

- (1) 副会長・理事長・監事は会長により選任される。
- (2) 理事は理事長により選任される。
- (3) 副理事長は理事の互選により選任される。

(役員職務)

第7条 会長はこの団体の業務を総括し、この団体を代表する。

- (1) 会長に事故あるとき、または欠けたときは、会長があらかじめ指名した順序により、副会長がその職務を代理し、またはその職務を行う。
- (2) 理事長は会長及び副会長を補佐し、理事会の議決に基づき団体の業務を掌握する。
- (3) 副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故あるとき、または欠けたときは、その職務を代理し、またはその職務を行う。
- (4) 理事は理事会を組織して、この団体の業務を決議し執行する。
- (5) 監事はこの団体の財産及び理事の業務執行状況を監査する。

(役員任期)

第8条 この団体の役員任期は2年とし再任を妨げない。

- (1) 補欠または増員により選任された役員任期は前任者または現任者の残任期間とする。
- (2) 役員はその任期終了後でも後任者が就任するまでその職務を行う。

(役員解任)

第9条 役員は次の各号の一つ以上に該当するときは、理事現在数および評議員現在数のおおの3分の2以上の議決により役員を解任することができる。

- (1) 心身の故障のため、職務の執行に堪えないと認められるとき。
- (2) 職務の義務違反、その他役員たるにふさわしくない行為があると認められるとき。

第4章 名誉会長・顧問・参与

(名誉会長・顧問・参与)

第10条 この団体に名誉会長・顧問・参与を若干名置くことができる。

- (1) 名誉会長は理事会および評議員会の推薦に基づき会長が委嘱する。名誉会長は会議に出席し意見を述べることができる。
- (2) 顧問は、この団体の会長または副会長であった者およびアイスホッケーに関する功労者の中から理事会及び評議員会で推薦し、会長が委嘱する。
- (3) 参与は理事会及び評議員会で推薦し、会長が委嘱する。参与は理事会の諮問に応ずる。

第5章 会議

会議(評議員会)

第11条 評議員会は年1回以上開催し、次の運営に関する重要事項を審議する。

- (1) 規約の制定および改正
- (2) 会長の選任
- (3) 事業計画及び収支予算について
- (4) 事業報告及び収支について
- (5) 加盟・脱退・賞罰に関して
- (6) この団体の解散に関する事項
- (7) その他この団体の業務に関する重要事項で理事会において必要と認めるものに助言する。評議員会は必要に応じ会長が招集する。

(理事会)

第12条 理事会は会長・副会長・理事長・副理事長・理事をもって構成する。理事会はこの団体の運営に関し審議決定し、次の事項を討議する。

- (1) この団体の事業の企画及びその遂行に関する事項

- (2) アイスホッケーに関する県内競技会及び日本アイスホッケー連盟等に対する代表参加者の選考及び推薦
- (3) 会長・副会長・名誉顧問・参与の推薦
- (4) 専門委員会設置に関する事項
- (5) その他この団体の運営に関する事項
(招集)

第13条

- (1) 評議員会は会長が招集し、少なくとも10日前に日時、場所、その会議の目的なる事項を評議員あてに通告する。
- (2) 理事会は会長の承認を経て理事長が招集する。
- (3) 会長が必要と認めた場合、又は理事構成員の3分の1以上から会議に討議すべき事項を示し、招集を請求されたときは、その請求のあった日から21日以内に臨時評議員会又は臨時理事会(を招集しなければならない。
(定足数)

第14条

- (1) 評議員会の定足数は構成員の3分の2以上とし、理事会は構成員の過半数とする。ただし当該議事につき書面をもってあらかじめ意志を表示した欠席者は出席者とみなす。
- (2) 評議員会、理事会の議事はこの規約に別段定めのある場合を除くほか、出席者の過半数をもって可決同数のとき議長が決するところによる。
(議事録)

第15条 全ての会議には議事録を作成し、議長及び出席者の代表2名以上の署名捺印の上これを保管する。

第6章 専門委員会

(総務委員会)

第16条 日本アイスホッケー連盟並びに関係各機関との連絡・折衝に関する事項、本連盟の規約の研究・審議・立案等に関する事項、組織の統括・人事に関する事項、会議に関する事項、式典・行事等の企画準備・実施に関する事項、物品の調達、管理に関する事項、祥章・記章の作成に関する事項、役員の出張に関する事項、その他、他委員会に属しない事項

(普及事業委員会)

第17条 普及指導に関する行事・催物の企画実施に関する事項、指導者の養成および研修に関する事項、指導書・テキスト等の作成、小・中学生等学童に対する普及指導

(強化委員会)

第18条 競技力の向上に関する基本方針の作成、各種強化事業の企画と運営、コーチ養成に関する事項、コーチ会議・研修会の企画・実施、強化指導書の作成、県外派遣コーチ・選手の選考に関する事項

(競技事業委員会)

第19条 年間競技日程の作成、本連盟主催・主管の各競技会の企画運営に関する事項、各種競技会の規程・要項等の審議・立案・作成に関する事項、競技役員・補助役員等の掌握・招集に関する事項、登録資格に関する事項

(レフェリー委員会)

第20条 競技規則の研究・審判員の組織の確立および統括に関する事項、審判員の指導・技術向上に関する各種事業の企画・実施に関する事項、審判員の公認に関する事項、日本アイスホッケー連盟レフェリー委員会との連絡折衝に関する事項

(その他の委員会)

第 21 条

- (1) この連盟の事業遂行のために必要があるときは、理事会の決議に基づき第 16 条から第 20 条までに規定する委員会以外の委員会を置くことが出来る。
- (2) 前項の規定にない委員会の運営に関する規則は理事会の決議を経て定める。

第 7 章 加盟団体および加盟

(加盟)

第 22 条 次に掲げる団体で、この団体の趣旨に賛同するものは理事会、評議員会における承認を得て加盟団体となることが出来る。

(資格喪失)

第 23 条 加盟団体は次の事由によってその資格を喪失する。

- (1) 脱退
- (2) 加盟団体の解散
- (3) 除名

(脱退)

第 24 条 加盟団体が脱退しようとするときは、その理由を付して脱退届を提出し、理事会の承認を経なければならぬ。

(除名)

第 25 条 加盟団体が次の各号の一つ以上に該当するときは、評議員会の議決を経て会長がこれを除名することができる。

- (1) この団体の加盟団体としての義務に違反したとき。
- (2) この団体の名誉を傷つけ、またこの団体の目的に違反する行為のあったとき。
- (3) 加盟金及び登録料を滞納したとき。
- (4) アマチュア資格を失ったとき。

(負担金)

第 26 条 加盟団体は毎年別に定める加盟金及び登録料を納入するものとする。既納の加盟金及び登録料はいかなる理由があってもこれを返還しない。

第 8 章 登録及び登記会員

(登録)

第 27 条 本連盟の登録は加盟団体登録と会員登録の 2 本立てとし毎年更新するものとする。

(加盟登録の種類)

第 28 条 加盟団体及び会員登録を下記の通りとする。登録料は細則により別に定める。

◇ チームカテゴリー

一般	社会人・大学同好会
オールドタイマー	(オールドタイマー委員会が規定)
大学	大学
高校	高校生・高校とクラブチーム
中学	中学生・中学とクラブチーム
小学生以下	小学生以下・小学生とクラブチーム
女子	女子のみのチーム
加盟団体	チームに所属していない連盟役員のみ

◇ 個人

18歳以上	当該年4月1日に満18歳を迎えているもの
15歳以上、18歳未満	当該年4月1日に満15歳を迎えていて満18歳に満たないもの
15歳未満	当該年4月1日に満15歳に満たないもの

◇ レフェリー

18歳以上男子	当該年4月1日に満18歳を迎えているもの
18歳以上女子	
18歳未満男女	当該年4月1日に満18歳に満たないもの

(登記会員の登録)

第29条 加盟団体の地域内に居住または勤務するものでアイスホッケー競技を愛好し、しかも加入団体の登録会員でない者は加盟団体の資格審査を経て直接その加盟団体に登録することができる。

(会員の所属団体)

第30条 会員が所属する団体はいかなる場合も一つに限られる。

(登録規定違反)

第31条 加盟団体及び会員が登録規定に違反した場合1年を限度とする加盟団体資格及び会員資格の停止または保留処分を科することができる。

第9章 規約の変更ならびに解散

(規約の変更)

第32条 この規約は評議員出席人員の3分の2以上の議決を経なければ変更できない。

(解散)

第33条 この団体の解散は、理事現在数および評議員現在数のおおの4分の3以上の議決を受けなければならない。

第10章 会計

(経費の支弁)

第34条 本連盟の経費は加盟団体負担金、県または公共団体よりの補助金、本連盟の目的に協賛するものよりの寄付金、事業収入およびその他の収入をもって支弁する。

(会計年度)

第35条 この団体の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第11章 補則

(書類及び帳簿の備付等)

第36条 この団体の事務所に次の書類及び帳簿を備えなければならない。

- (1) 規約
- (2) 役員名簿・会員名簿・その他
- (3) 収入支出に関する帳簿及び証拠書類
- (4) 官公署往復書類
- (5) 理事会・評議員会の議事に関する書類
- (6) その他必要な書類及び帳簿

前項の書類及び帳簿は5年以上保存しなければならない。

(職員)

第 37 条 この団体の事務を処理するため事務局を設け職員を置くこともある。職員は会長が任免する。職員は有給とする。事務局に関する規定は理事会の議決を経て別に定める。

(細 則)

第 38 条 この規則の施行についての細則は、理事会の議決を経て別に定める。ただし、従前の兵庫県スケート連盟に属したアイスホッケー部門の権利、義務の一切はすべてこの団体が継承する。

第 39 条 本規約は昭和 60 年 5 月 1 日より之を施行する。

第 40 条 この団体の設立当初における理事・監事・評議員は次のとおり

理事 名執一雄 日野耕太朗 中井洋 表敏一 渡辺真一郎 泉川謹之助 松宮良樹 西村正雄
松原直樹 梅本匡 佐々木史郎 福島国弘

監事 天羽徳之助

評議員 泉宏 黒川一郎 岡田好史 殿界正久 袴田剛 宮崎裕司 小田和男 宮崎久彦
坂田英樹 蓮池一晃 林秀和 橋田昌久 小林三千男 平松一夫 畝村繁 中塚洋子

兵庫県アイスホッケー連盟規約 細則

(目的)

第1条 連盟規約第39条に基づき本連盟の組織運営に関する細部を規定する。

(加盟手続)

第2条 新たに加盟を希望する組織団体は次の書類を提出しなければならない。

名称、規約、役員・会員名簿（氏名・現住所・電話・職業等）連絡事務所責任者。
学生団体にあつては当該大学の承諾書。

(加盟団体)

第3条 加盟団体とは連盟規約第22条に定めるアイスホッケー同好者10人以上をもって組織された本細則に基づき加盟登録したものをいう。

(加盟承認)

第4条 本連盟への加盟を希望する組織団体は理事会・評議員会の承認を必要とする。但し、緊急を要するときは、理事会が加盟を認めることが出来る。

(登録申請)

第5条 登録申請は加入団体ごとに、書面により本連盟に提出しなければならない。

(加盟金及び登録料)

第6条 加盟金及び登録料は次の通りとし、本連盟に納められる、既納の加盟金及び会員登録料は如何なる理由があつても返還しない。加盟金及び登録料は当該年度により変更することもある。

◇ チームカテゴリー

	アイスホッケー	インライン
一般	30,000 円	6,000 円
オールドタイマー	30,000 円	6,000 円
大学	25,000 円	6,000 円
高校	25,000 円	5,000 円
中学	25,000 円	5,000 円
小学生以下	25,000 円	5,000 円
女子	30,000 円	6,000 円
加盟団体	0 円	0 円

◇ 個人

	アイスホッケー	インライン
18 歳以上	6,000 円	2,000 円
15 歳以上、18 歳未満	5,000 円	2,000 円
15 歳未満	4,000 円	1,000 円

※ただしオールドタイマーの個人登録費は 3,000 円とする

◇ レフェリー

18 歳以上男子	2,000 円
18 歳以上女子	1,000 円
18 歳未満男女	0 円

(所属団体の変更)

第7条 会員が所属加盟団体を変更するときは、その加入団体の承認を得なければならない。会員の移動で加入団体が変わる場合は、新所属加入団体へ前所属団体の“登録変更承諾書”を提出しなければならない。所属加入団体が承諾書の発行を拒み、これを不当と考える会員は本連盟へ提訴することが出来る。提訴された件に関し、理事会に於いて審議し決議する。

(資格の取消し)

第8条 会員がアマチュア資格を失ったときは直に登録を取消す。

(参 与)

第9条 参与は本連盟の理事を3期以上つとめたもの、または兵庫県のアイスホッケー界に功労のあった者の中から理事会が推薦し、会長が委嘱する。

(評議員の推薦)

第10条 加盟団体は各団体より1名の評議員を推薦しなければならない。ただしオールドタイマーは除く。

(評議員の補欠)

第11条 理事に選任された評議員の推薦加盟団体は評議員を補充しなければならない。理事は評議員を兼ねる事はできない。

(評議員会)

第12条 評議員会は会長・副会長・理事長・副理事長・理事・評議員をもって構成する。会長は議長となる。

評議員会は年1回以上開催する他、次期会長の選出に伴う定期評議員会を開催する。なお、必要に応じ臨時評議員会を開催することが出来る。

(専門委員)

第13条 専門委員は加盟団体の申請により理事会の承認を得て会長が委嘱する。他に必要あれば理事会の承認を得て登録会員の中から若干名の委員を委嘱できる。

(専門委員会)

第14条 連盟規約第六章に基づき各委員会は次の要領で実施する。

- (1) 各部門委員会はそれぞれ必要な専門委員を以って構成する。
- (2) 各部門委員会は委員長が招集し、議長となる。委員会開催の都度、理事長に報告しなければならない。会長・理事長・理事はこれに出席して意見をのべることができる。
- (3) 各部門委員会がそれぞれ所管事項の業務遂行に緊急を要するときは、委員長は理事長の承認を得てこれを専決処理することが出来る。
- (4) 各部門委員会における審議または決定案は、理事会の承認を得た上で決定する。
- (5) 各専門委員会の委員長は、理事により選任される。

(賛助会員)

第15条 アイスホッケー競技を愛好し、健全なる普及発達を計り県民スポーツの啓発高揚を期し、本連盟の発展に賛助される方を賛助会員とする。

(理事長の専決処理)

第16条 緊急の必要があるとき、理事長は会長の承認を得て専決処理することが出来る。この場合最近の理事会に報告しなければならない

(競技会開催権)

第17条

- (1) 加盟団体は本連盟主催・主管または後援の各種行事に所属の会員を参加させ、またはその地域において本連盟公認の競技会を開催することができる。
- (2) 加盟団体は本連盟主催の競技会を共同主催または主管のもとに開催することが出来る。
- (3) 公式競技については別に定める競技規定によって行われる。
- (4) 日本アイスホッケー連盟主催の有料大会またはそれに準ずる大会を兵庫県アイスホッケー連盟が主管する場合には、所属チームに対し、運営支援を求めることができる。

(日本アイスホッケー連盟評議員)

第18条 日本アイスホッケー連盟定款施行細則第7条により理事会に於いて評議員を選出し、推薦しなければならない。

(附 則)

第 19 条

- (1) 本連盟の加盟団体及びその会員は、日本体育協会及び日本アイスホッケー連盟のアマチュア規定ならびに本連盟の規約、規約細則を遵守せねばならない。
- (2) 本細則は兵庫県アイスホッケー連盟規約と共に施行する。
- (3) この規約細則は改定規約及び細則施行の日（平成 9 年 8 月 31 日）から施行する。
- (4) 一部変更された内容を含むこの規約細則は改定規約及び細則変更承認日（平成 24 年 5 月 6 日）から施行する。
- (5) 一部変更された内容を含むこの規約細則は平成 25 年 5 月 19 日の総会において改定規約及び細則の変更承認後、平成 25 年 4 月 1 日にさかのぼって施行する。
- (6) 一部変更された内容を含むこの規約細則は改定規約及び細則変更承認日（平成 26 年 4 月 20 日）から施行する。
- (7) 一部変更された内容を含むこの規約細則は改定規約及び細則変更承認日（令和元年 5 月 19 日）から施行する。



事務局

〒668-0047 兵庫県豊岡市三坂町 4-7

Email : hyogo.ice_hockey.f@icloud.com